

# 第九回 佐藤鬼房顕彰全国俳句大会入選結果

去る3月19日(土)、塩竈市ふれあいエスプ塩竈において開催された結果は次の通り。応募部門の投句数は、一般部門2,071句、ジュニア部門3,211句、当日1,044句、総数5,386句。当日参加者約150名。※囁目の部の選考は、全選者の公開討論を経て決定。



開会式

## 〈応募部門 (一般部門)〉

### 佐藤鬼房奨励賞

鬼房の眼の沁み込んでゐる冬木 小菅 白藤

### 中原道夫 特選

鬼房の眼の沁み込んでゐる冬木 小菅 白藤

海鼠腸を奇語と思ひつ一箸目 瀬戸 接雄

後朝の朝は流れぬ作り滝 子安 啓司

### 入選

着ぶくれて心の芯がずれてゐる 八島 岳洋

大根泥坊無数の穴を並べ措く 稲葉 千尋

冬の星吸取紙に滲みだす あべあつこ

浪音の欠片に戯れる寒雀 菊地 恵輔

柱にも緑したたる過去ありし 沼尻世江子

もうひとつ百面相で待つ噺 紺野きぬえ

雪吊の持ち上げてゐる松の格 武田 菜美

油照り三本足の犬が行く 川原真理子

倒れても枯れても菊であり続け 阿部 流水

魚は氷に老いて銜学あらたまる 大林 淳男

道草をしてゐる春の大河かな 小林 英昭

悲しびを撥条に飛蝗の跳びたるや  
夢を売る仕事に厭きてがうな売る  
乾鮭の悟る途中の面がまへ

### 西山 睦 特選

鬼房がどこかで笑ふから落花

海嘯の果ての一島花菜風

入口は真杭一本大枯野

鬼房の眼の沁み込んでゐる冬木

この村を出でしまま草枯るるまま

撲たれたる鮭の魂乾しにけり

一匹の音を大きく冬金魚

湯をそそぐだけの昼飯年の暮

この町の明かり少なし除夜の鐘

薪を割る暮しを今も寒椿

餅配り帰村の灯とびとびに

帰る荷の重たき夜汽車年つまる

イニシャルのKにときめく古日記

寒風沢島の雨降り石も年明けける

鶏卵に未生の温み冬木の芽

鬼房はなけれど春を待つポスト

山の家買へば銀河のついてくる

照井 翠 特選

まだ誰も帰つてこない春の暮

ふるさとは今日も雪ですお父さん

三月や人魚は泡となりしまま

土井田晚聖  
土井田晚聖  
麻香田みあ

大木 雪香

清水 治男

長岡 ゆう

小菅 白藤

井澤 秀峰

阿部風々子

山田 史子

佐藤真理子

大和田節子

中鉢 陽子

坂本 節子

鉄山 幸子

柴田 奈美

山田 桃晃

土屋 遊蛭

佐藤 成之

終 ひろこ

矢本 大雪

土見敬志郎

草野志津久

入選

浮雲は娘の寢床冬うらら  
この村を出でしまま草枯るるまま  
佐助や隠るるやうに帰る村  
撲たれたる鮭の魂乾しにけり  
種袋未生のの骨の音  
鮫鱈の眼に一湾が走り込む  
餅配り婦村の灯とびとびに  
滝凍てて火種を青く抱いてゐる  
先づ手から此の世に戻る芒原  
遅き春陸奥覆ふ聖骸布  
白長須鯨や生きるとは神話  
寒芹を水ぎざぎざにして洗ふ  
磔刑の跣足の一つ小さきまま  
弾となりし鐘もあらむや大晦日  
高野ムツオ 特選

菊地 恵輔  
井澤 秀峰  
星野みつ子  
阿部風々子  
土屋 遊蝨  
土見敬志郎  
坂本 節子  
渡邊 文子  
伊藤 昇  
石原みどり  
小田島 渚  
寺尾亜真李  
後藤 悠平  
島貫アキ子  
栗林 浩  
橋本 喜夫  
石川 陽子  
兵藤 康行  
齋藤 伸光  
小山 尚宏  
石の森市朗  
中井 洋子  
平山 北舟

アンダーコントロールと汚染土に雪積る  
余生とは刈田に立ちて思ふもの  
今日の日の今日を光りて遠雪嶺  
春服や潮風胸に受くるため  
声あげしものみなひかり霜柱  
米をとぐここにも春の水のあり  
寒暮光島の容に鳥残り  
如月や逡巡したる波の跡  
渡辺誠一郎 特選  
ふくしまや一粒の麦踏めば起つ  
花に鳥建屋に汚水ありにけり  
十二月海より深く語りけり  
暖かき海いだくかに鬼房忌  
鬼房の眼の沁み込んでゐる冬木  
海ひろげ空をひろげる鬼房忌  
無骨とは骨のあること鬼房忌  
鬼房がどこかで笑ふから落花  
雪香は軍靴にならぬから履けり  
押入れに何もゐるはずなき霜夜  
冬銀河土偶はみんな目を開く  
鬼房はなけれど春を待つポスト  
揚雲雀北朝鮮を覗きゆく  
煮凝に海溝のごと亀裂あり  
梅ひらく問ひたきことのあるごとく  
湯たんぼや地上に戦なきごとく

平山 北舟  
鈴木喜久郎  
清水 智子  
小田島 渚  
土見敬志郎  
水岩 瞳  
土屋 遊蝨  
菊地 美紀  
坂本 豊  
橋本 喜夫  
秋山 笹舟  
早川 啓子  
小菅 白藤  
菊地 恵輔  
栗林 浩  
大木 雪香  
川名 将義  
高村 龍彦  
鎌倉 道彦  
佐藤 成之  
西村 榮一  
籬 朱子  
山本 涼  
春日 石疼

天牛の齧る夕日の野辺送り 武田香津子  
高柳克弘 特選  
木の芽晴鳥の餌台出来あがる  
仙台市立郡山中学校 一年 丸山 隼  
木の芽晴鳥の餌台出来あがる  
仙台市立郡山中学校 一年 丸山 隼  
高柳克弘 特選  
木の芽晴鳥の餌台出来あがる  
仙台市立郡山中学校 一年 丸山 隼  
廃校のプランコに雪あたたかく  
仙台白百合学園高等学校 二年 齋藤 理子  
去年の火の今年の灰となつて明け  
愛媛県済美平成中等教育学校 三年 佐々木良洋  
冬座敷ブリキのロケットは飛ばぬ  
岡山県就実高等学校 二年 石川 明星  
風がふきふいた先にはきつねいた  
塩竈市立第一小学校 六年 新屋敷京介  
しもばしらアリから見れば高層ビル  
塩竈市立第一小学校 六年 鈴木 祐登  
はちのすがおおとこよりおおきいな  
塩竈市立第一小学校 二年 小砂子豊允  
かるたとり空気をさくつと切っていく  
富山県高岡市立伏木小学校 六年 奥田 絵美  
父の顔まねして食べる焼きさんま  
富山県高岡市立伏木小学校 五年 河村 紗英

貝さがす足にザブンと秋の波

富山県高岡市立伏木小学校 三年 林 尚慶

なんのえといもうとにきくあきのよる

富山県高岡市立伏木小学校 一年 鶴谷 和奈

しろいいきこいしくなるよままのひざ

富山県高岡市立伏木小学校 一年 若狭 芙羽

春風はちよつとつめたいだいじょうぶ

塩竈市立玉川小学校 二年 福田 凛華

てのひらの流星待っているかたち

沖縄県立浦添高等学校 浜崎 結花

コンセント抜いても炬燵猫の居る

沖縄県立浦添高等学校 宮城 瑛美

故郷の空は動じず初時雨

愛媛県立東予高等学校 二年 国本 大河

雪晴やシーラカンスの目も白し

愛媛県立東予高等学校 二年 本田 真

**神野紗希 特選**

鳥渡る少年という水たまり

愛媛県立伯方高等学校 一年 中根 迪

弟とかけっこゴールはひがん花

富山県高岡市立伏木小学校 四年 船木 万莉

夜の海一億歳の貝拾う

仙台北百合学園高等学校 二年 近藤 舞

**入選**

紐切れしブラインドより初日受く

茨城県立下妻第一高等学校 柴崎比奈子

暗黒へはばたく蝶かオスブレイ

茨城県立結城第二高等学校 三年 小松崎宏樹

冬夕焼ガイドブックに海あふれ

愛媛県立松山中央高等学校 二年 渡部 桜桃

ナブラ追ふ鯉漁師の煙草かな

愛媛県済美平成中等教育学校 三年 笠屋 佑輔

アルバムに残らない声柚子香る

愛媛県立伯方高等学校 二年 野間 千陽

夜の雪ねながら見れば深い海

塩竈市立玉川小学校 三年 森居 康成

ショーウインドー君のサンタになりたくて

群馬県立高崎商業高等学校 二年 石川みなみ

弟にだんごとられ月見かな

塩竈市立第一小学校 三年 平野 太朗

階段で空を見ながら春を待つ

塩竈市立第一小学校 六年 松永 凱聖

海しずか岩のむこうに冬のにじ

富山県高岡市立伏木小学校 三年 井下 永遠

ししぶえに赤いとんぼが来て止まる

富山県高岡市立伏木小学校 三年 井口 希星

貝さがす足にザブンと秋の波

富山県高岡市立伏木小学校 三年 林 尚慶

ナガサキの残照に立つカンパネラ

仙台北百合学園高等学校 二年 若林 薫

ハーモニカ夕陽のガマに響きたり

仙台北百合学園高等学校 二年 鈴木真里奈

**佐藤成之 特選**

朝という水の感触小鳥来る

愛媛県立伯方高等学校 二年 村上 千夏

冬の海星より生まる呼吸音

愛媛県立伯方高等学校 二年 檜垣 早苗

まどうつるゼロ戦の翼つめたき日

福岡県福岡海星女子学院附属小学校 六年 原田 琉成

**入選**

セグウェイの斜度が生み出す秋の風

岩手県立水沢高等学校 一年 伊藤 亜間

廃校のジャングルジムの若葉かな

茨城県立結城第二高等学校 三年 長濱 有香

冬夕焼ガイドブックに海あふれ

愛媛県立松山中央高等学校 二年 渡部 桜桃

ししぶえに赤いとんぼが来て止まる

富山県高岡市立伏木小学校 三年 井口 希星

なんのえといもうとにきくあきのよる

富山県高岡市立伏木小学校 一年 鶴谷 和奈

冬の窓もるテストの五時間目

富山県高岡市立伏木小学校 六年 谷口 幸奈

桜の木命は永遠に続いてく

塩竈市立玉川中学校 二年 水間 理沙

室咲きの梅や昨日の陽の匂い

仙台北百合学園高等学校 一年 松本ルミナ

凍星を飲み込む海の青さかな

沖縄県立浦添高等学校 宮城 瑛美

お日さまのこぼしたしずくクロッカス

塩竈市立第三小学校 六年 尾上 菜楠

木枯らしや忘れた友の声がある

千葉県渋谷教育学園幕張高等学校 二年 阿部 圭吾

木の芽晴鳥の餌台出来あがる

仙台市立郡山中学校 一年 丸山 隼

如己堂のポストに灯る螢かな

仙台白百合学園高等学校 二年 浅野 菜那

ハーモニカ夕陽のガマに響きたり

仙台白百合学園高等学校 二年 鈴木真里奈

〈属目の部〉

佐藤鬼房奨励賞

飛んでも更地飛んでも更地つばくらめ

仙台市 平山 北舟

塩竈市長賞

白梅に呼び止めらるる狐かな

上尾市 中野 博夫

塩釜市芸術文化協会長賞

とこしへに人間であり山桜

大阪市 上野まさい

塩竈市観光物産協会長賞

赤坂やつこの尾を踏む鬼房忌

塩竈市 太田サチコ

中原道夫特選

第一席 飛んでも更地飛んでも更地つばくらめ  
仙台市 平山 北舟

第二席 遠山火鬼房の書の墨溜  
塩竈市 池田智恵子

第三席 催花雨は鬼房の愛花しづく  
仙台市 浪山 克彦

西山 陸特選

第一席 震災の空気まだある蓬強し  
松島町 榊原 伊美

第二席 髪長き少女に浮力春の雲  
仙台市 小川真理子

第三席 産着干す仮設の狭庭木の芽晴  
仙台市 丸山千代子

照井 翠特選

第一席 白梅に呼び止めらるる狐かな  
上尾市 中野 博夫

第二席 堅雪や河童の皿が見当たらぬ  
仙台市 中村 春

第三席 髪長き少女に浮力春の雲  
仙台市 小川真理子

関 悦史特選

第一席 三月の海は漆黒人も漆黒  
弘前市 矢本 大雪

第二席 百千鳥人も放たれし如きかな  
多賀城市 伊藤 忠克

第三席 切株は一つの宇宙春の月  
美里町 佐藤 みね

高野ムツオ特選

第一席 断崖の傷は億年春霞  
仙台市 宮崎 哲

第二席 飛んでも更地飛んでも更地つばくらめ  
仙台市 平山 北舟

第三席 海底に月光とどく花の冷  
仙台市 斎藤真里子

渡辺誠一郎特選

第一席 三月の還へりざるものかへり来る  
松島町 岡田とみ子

第二席 海光に一瞬触れて鳥帰る  
柴田町 大久保和子

第三席 とこしへに人間であり山桜  
大阪市 上野まさい

佐藤成之特選

第一席 切株は一つの宇宙春の月  
美里町 佐藤 みね

第二席 陽炎の出口知りたる乳母車  
仙台市 関根 かな

第三席 とこしへに人間であり山桜  
大阪市 上野まさい